



SUPER耐久 2019 RACE REPORT



スーパー耐久第1戦

PIRELLIスーパー耐久開幕戦

2019年開幕戦の舞台は昨年に続き鈴鹿サーキットで行われました。

日本屈指のテクニカルサーキットでの開幕戦は不慣れなドライバーの多い開幕戦がゆえに非常にレース中のアクシデントを警戒しなければならない大会の一つです。

ティーズコンセプトも今年は2人の新しいドライバーを迎え入れました。

先ずは昨年からの継続である東 徹次郎に着実にスキルアップしてきてるDAISUKE。そこへ新たにジェントルマンドライバーのハマダタカアキと期待の若手F3ドライバーの小高 一斗が加わりこの4名で優勝を目指します。

マシンは昨年度から熟成も進み、昨年確認することが出来たマシンのウィークポイントには手を加え、今シーズンは安心して闘える車両が用意出来ました。



今年加わったハマダタカアキ(左)と小高一斗(右)

練習日

木曜日から練習走行が開始し先ずは東選手でマシンのバランスなどを確認し問題のないことを確認しました。今年から加わった2名のマシン習熟がメインの走行プランとなりましたがフォーミュラーでの経験豊富な小高選手は走り始めからタイムも良くマシンの操作にさえ慣れれば特に問題ないことの確認が取れました。

ジェントルマンドライバーのハマダ選手はまだ不慣れなマシンと経験の少ない鈴鹿サーキットに加え約6クラスの車両と混走する状況に戸惑いしかない状況の中で徐々にタイムアップを図りレースへの参加の準備を整えていきました。

3シーズン目のDAISUKE選手はレースラップ想定で走行することは問題ないので予選に向けて一発の速さを出す練習に意識を集中しました。

金曜日から土曜日の午前中までドライバーそれぞれの課題をクリアしながら予選に向けて準備を整えます。特にAドライバーとして3年目の東選手は自分の走行時間を削りながら他のドライバーに時間を与え、小高選手とは意見を交換しながらマシンのセットアップも進めていきます。



3シーズン目のDAISUKE



ハマダ選手へアドバイスする東選手

公式予選(土)晴れ

Aドライバー予選は東選手がアタックしました。少しミスがありパーフェクトなアタックではなかったようですがクラス5位の2'23.416を記録。

Bドライバー予選ではDAISUKE選手が2'25.915と少しターゲットにタイムには届きませんでした。がまずまずのタイムで予選を終了。

AとBの合計タイムが4'49.331でクラス8位で決勝を迎えます。

Cドライバー予選ではハマダ選手が基準タイムをクリアしDドライバー予選で小高選手が決勝を想定した燃料搭載量でレースシミュレーションしました。

小高選手のペースが良く決勝に期待を持つことが出来ました。



ドライバー	タイム	順位
東 徹次郎	2'23.416	5位
DAISUKE	2'25.915	8位
合算	4'49.331	8位

決勝レース(日)晴れ

5時間レースの決勝はDAISUKE選手でスタートしました。序盤から積極的に前を狙い#5の86を1コーナーでオーバーテイクなど魅せる走りを展開しながら昨年までの課題であったレースラップもとても安定していました、約70分の走行からハマダ選手もスーパー耐久デビュー戦として安定した走りで40分走りました。ラップタイム的には慣れてくる後半戦に期待したいです。

レースも約2時間経過するころにはじりじりポジションも上がり交代した小高選手も安定して良いラップで走り続け上位を狙います。小高選手もデビュー戦でありましたが95分のロングステントをしっかりと走り切りアンカーの東選手に交代しました。

フルコースイエローの関係もあり東選手は燃料が足りるかギリギリの105分のステントとなったので燃費を抑えながら前を追う難しいシチュエーションをきっちり仕事し最終ラップで前を走るマシンが停車したことで4位にポジションを上げてゴールしました。

#28として4位のリザルトは過去最上位となり今シーズンでの初表彰台への期待が膨らみます。



片岡龍也 監督コメント

今シーズンもいよいよ多くの関係者の皆様のおかげで開幕することが出来ました。今シーズンT's CONCEPTは1台体制となり、ドライバーも入れ替わったりなどしました。

また今シーズンはチーム設立当初からの希望でもあった若手ドライバーの器用もすることが出来たので少しずつ理想の形へ成長しました。

レースではジェントルマンドライバーの成長や若手ドライバーのパフォーマンスとチームとしてのレベル底上げを感じとれるレースとなりました。開幕戦からベストリザルトの4位が獲得できたのも今シーズンを占う上でも素晴らしい走り出しになったと思います。

次戦はテクニカルで度胸も必要とするSUGOサーキットですが何とか表彰台へ届くようなレースにしたいと思いますので引き続き応援よろしくお願いします。

